

# ☆ポスト安倍政権に望むこと

## 安倍政権とはどんな政権だったのか

- ◆八月二十八日、安倍首相が健康上の理由で辞任表明しました。二十四日に在任最長記録を確認した四日後でした。在任期間最長を自らの唯一のレガシー（政治遺産）として確認するまでの我慢だったのでしょうか。
- ◆安倍政権の歴史を平和憲法という透視鏡を通して見ると、その歴史は、憲法軽視、憲法破壊の歴史だったと言わざるを得ません。

## 安倍政権の総括

- ◆安倍首相は、憲法改正を目標に見据えて、先ず経済政策でアベノミクスを打ち出し、その業績と結果（内閣支持率）を憲法改正のエネルギーに使う事を考え、そのために安倍官邸一強の体制を作ることから始めました。次の三つです。
- ◆①内閣人事局の人事権強化、これにより官僚の付度構造ができました。
- ◆②選挙の公認権、資金の掌握、これで議員はものが言えなくなりました。
- ◆③国会での強行採決連発、これで国会は形骸化しました。
- ◆アベノミクスで株価が上がり、企業業績や雇用情勢が改善されたと言いますが、それらは富裕層、大企業の利益です。雇用改善とは非正規雇用の増大にすぎず、庶民の賃金は上がりず消費も停滞しています。
- ◆そして何より我慢できないのは、森友、加計、桜を見る会等に見えたように、政治を私物化し国民に嘘をつく体質です。

## 次の首相に望むこと

- ◆明日の総裁選挙で最も有力視されている候補者は「安倍政権の政策をを継承する」と言っていますが、先ず総括・反省から始めてほしいものです。
- ◆安倍政権のやった独裁的な一強体制の継承はやめ、民主的な風通しの良い政治を行って下さい。そして国民に嘘をつくことは止めて下さい。
- ◆経済政策は、富裕層や大企業の利益優先を改め、貧困層と中間層の所得増によって消費の拡大を図って下さい。
- ◆憲法特に九条は世界の宝です。これは絶対に壊さない、変えないで下さい。武力で平和は実現できないし、武力で国は守れません。武力を持たない国が世界に27もあり、その人びとは平和に暮らしている現実を見て下さい。
- ◆政権の長さではなく、つつましくても豊かさを実感でき、平和で世界から尊敬される国作りが、次の首相のレガシーとなることを切に期待しています。

二〇二〇年九月十三日（日）護憲平和行進（通算643回目）

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

☆今年のエアフェスタは中止になりました。私たちはこれを機に恒久的中止を求めています。



憲法第九條  
〔戦争の放棄〕

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。他の戦力は、これを保持しない。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。